

<b>■ 支部 だ よ り ■</b>	
---------------------	--

## 関東・甲信・静支部

関東・甲信・静支部の活動について報告します。  
(支部事務局：栃木県保健環境センター)

### 1. 環境測定分析統一精度管理ブロック会議

- (1) 期 日：平成26年7月15日(火)
- (2) 場 所：栃木県庁研修館(宇都宮市)
- (3) 参 加：15機関20名(検討委員，環境省，(一財)日本環境衛生センターを含む)
- (4) 議 事
  - ①環境測定分析統一精度管理調査について  
(環境省 服部 和彦 氏)
  - ②平成25年度環境測定分析統一精度管理調査結果について  
(一財)日本環境衛生センター 西尾 高好 氏)
  - ③環境測定分析における留意点および精度管理について  
(一社)国際環境研究協会 植弘 崇嗣 氏  
元愛媛大学 松田 宗明 氏  
(独)国立環境研究所 山本 貴士 氏
  - ④質疑応答

### 2. 支部役員会

- (1) 期 日：平成26年8月26日(火)
- (2) 場 所：栃木県保健環境センター(宇都宮市)
- (3) 参 加：支部役員6名，事務局2名
- (4) 議 事
  - ①平成25年度，平成26年度の運営及び事業について
  - ②会長賞被表彰者の支部推薦に係る選考について
  - ③支部長表彰の被表彰者の選考について
  - ④その他

### 3. 支部総会

- (1) 期 日：平成26年9月26日(金)
- (2) 場 所：横浜市開港記念会館(横浜市)
- (3) 参 加：16機関24名

### (4) 議 事

#### 1) 議決事項

- ①平成25年度事業報告について
- ②平成25年度収支決算報告について
- ③平成26年度事業計画(案)について
- ④平成26年度収支予算(案)について

#### 2) 専門部会事業報告

- ①大気専門部会
- ②水質専門部会
- ③水質専門部会東京湾連絡会
- ④騒音振動専門部会

#### 3) 報告事項

- ①全国環境研協議会会長賞，会長感謝状候補者の推薦について
- ②支部長表彰について
- ③平成27年度の役員及び総会等の開催地について

#### 4) 支部長表彰式

次の6名の方を表彰しました。

- |                |         |
|----------------|---------|
| ○群馬県衛生環境研究所    | 熊谷貴美代 氏 |
| ○埼玉県環境科学国際センター | 梅沢 夏美 氏 |
| ○千葉県環境研究センター   | 石橋 雅之 氏 |
| ○(公財)東京都環境公社   |         |
| 東京都環境科学研究所     | 上野 広行 氏 |
| ○神奈川県環境科学センター  | 坂本 広美 氏 |
| ○長野県環境保全研究所    | 浜田 崇 氏  |

### 4. 支部専門部会開催状況

#### (1) 大気専門部会

(部会長：千葉市環境総合研究所)

- ①期日：平成26年10月10日(金)
- ②場所：千葉県庁南庁舎
- ③内容：演題発表(11題)

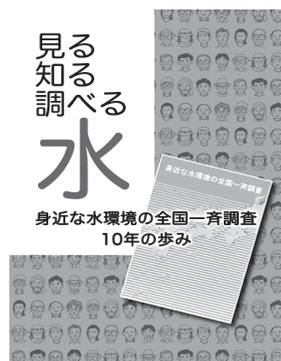
#### (2) 水質専門部会

(部会長：静岡市環境保健研究所)

- ①期 日：平成26年10月31日(金)
- ②場 所：静岡市役所静岡庁舎

<b>■ 支部 だ よ り ■</b>
---------------------

- |  |  |
|--|--|
| <p>③内 容：演題発表(16題)</p> <p>(3) 水質専門部会東京湾連絡会議<br/>(部会長：さいたま市健康科学研究センター)</p> <p>①期 日：平成26年11月7日(金)</p> <p>②場 所：さいたま市保健所・健康科学研究センター</p> <p>③議 事：平成26年度の各機関の事業および調</p> | <p>査研究計画の執行状況</p> <p>(4) 騒音振動部会<br/>(部会長：茨城県霞ヶ浦環境科学センター)</p> <p>①期 日：平成26年7月18日(金)</p> <p>②場 所：茨城県霞ヶ浦環境科学センター</p> <p>③内 容：演題発表(6題)</p> |
|--|--|



## 2015年4月中旬刊！

# 『見る知る調べる水』

**■ 身近な水環境の全国一斉調査—10年の歩み ■**  
 A5判 約200頁 予価1500円(税込み)  
 編集：身近な水環境の全国一斉調査 10年誌編集委員会  
 発行：全国環境研会誌事務局  
 発売：星雲社

10年間で全国延べ7万人以上が参加した「身近な水環境全国一斉調査」の10年の歩みをまとめた本が『見る知る調べる水』として現在編集が進められ、この3月末にも単行本として発行されます。市民を中心に各地で独自で行われてきた水環境調査がどのようにして全国ベースで行われるようになったのか？さまざまな困難にぶつかりながら実現した全国一斉調査。そのはじまりから全国レベルでの調査の意味、また参加した多くの皆さんの活動の積み重ねの成果が初めてまとめられました。10年間の歩みと成果は今後どのように生かされるのでしょうか。自らの水環境を見つめ、改善していく目を養い、全国にそしてさらに広い世界に向けた活動の始まりを予感させます。身近な水環境の全国調査に関わった方はもちろん、関係する多くの方々には是非お読みいただきたい一冊です。

### ■ 主要目次 ■

**環境問題の経緯と背景／市民による環境の調査／全国一斉調査を始める準備／全国一斉調査の始まり／調査の継続／結果の報告／成果の活用と評価／全国一斉調査のこれから**  
**○座談会 ○コラム／全国各地からの声 ○年表 ○参加団体全名簿**

『見る知る調べる水』—身近な水環境の全国一斉調査—10年の歩み— 部 注文します。

送付先 〒

団体・部署名

氏 名

電話番号

Fax番号

問い合わせ等は——全国環境研会誌事務局

〒1179.0052 東京都練馬区光が丘3-3-9-305

Tel&Fax 03-3939-8671 E-mail : zenkanken@gmail.com